

# 第7回研究集会

第6号通信

## 新時代のアセスメント～認知特性と適応の視点から～



この度の地震により被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げます。  
また、震災でお亡くなりになった方々に深く哀悼の意を表しますとともに、ご遺族の  
皆様に謹んでお悔やみ申し上げます。

日本LD学会第7回研究集会第6号通信をお届けいたします。今号は、シンポジウム話題提供でご登壇くださる黒田美保先生のご紹介と、黒田先生にお話いただくVineland-IIについて特集いたします。

### 登壇者紹介 ⑤

シンポジウム話題提供: **黒田美保先生** (田園調布学園大学教授)

黒田先生は、発達臨床心理学がご専門で、発達障害、特にASDのアセスメントと支援に関する我が国のトップランナーの研究者でいらっしゃいます。また、研究だけでなく、東京都特別支援教育推進委員会の委員もお務めになっており、教育現場とのつながりもお持ちです。

ご著書や論文も多数あり、アセスメントに関わる研修会でも講師としてご活躍です。ASDの診断アセスメントの世界標準であるADOS-2の研究使用資格をお持ちですが、この資格を保有されている方は日本では、まだ少数です。(国際誌にASDの論文を掲載する際は、ADOSのデータ記載が必須となっています)今回は、発達障害のアセスメントの適応に焦点を当て、Vineland-IIのご紹介と、現場での活用についてお話いただきます。

プログラム	
10:30 10:40	開会挨拶 小林玄 (東京学芸大学)
10:40 11:40	基調講演 上野一彦 (東京学芸大学名誉教授)
12:40	シンポジウム 新時代のアセスメント～認知特性と適応の視点から～ 話題提供 ・WISC-V 大六一志 (元筑波大学教授) ・KABC-II 小野純平 (法政大学教授) ・Vineland-II <b>黒田美保 (田園調布学園大学教授)</b> ・ASIST学校適応スキルプロフィール 橋本創一 (東京学芸大学教授) 指定討論 上野一彦 (東京学芸大学名誉教授) 藤野博 (東京学芸大学教授)
16:10 16:20	閉会挨拶 橋本創一 (東京学芸大学)

### 【ご著書・論文等】

- ・「これからの現場で役立つ臨床心理検査(解説編)&(事例編)」金子書房
- ・「これからの発達障害のアセスメント:支援の一步となるために」金子書房
- ・Kuroda, M., Kawakubo, Y., Kamio, Y., Yamasue H., Kono, T., Nonaka, M., ... & Kuwabara, H. (2022). Preliminary efficacy of cognitive-behavioral therapy on emotion regulation in adults with autism spectrum disorder: A pilot randomized waitlist-controlled study. Plos one, 17(11), e0277398.
- ・JASPERが日本の自閉スペクトラム症幼児におよぼす効果の予備的検討—(共著第1著者, 2022, 帝京大学紀要第26号, 1-11)
- ・コミュニティーでの支援を実現するJASPERプログラム(単著・招待論文, 2020, 子どものこころと脳の発達 巻11号, 28-34)



黒田先生には、  
シンポジウムの話題提供でご登壇いただきます

## 話題提供関連コラム： Vineland-II

日常生活を遂行するために必要な様々な力を適応機能／適応行動と呼びます。発達障害の人たちのなかには知能と適応行動との乖離が生じる場合があります。知能は低くなく、むしろ高いくらいなのに日常生活が円滑に営めないという問題です。そのため、発達障害のアセスメントにおいては認知能力とともに適応行動の実態を把握することが重要となります。

適応行動を評価できる検査として代表的なものにVineland (ヴァインランド) - II 適応行動尺度があります。対象者をよく知る人に面接して聞き取りを行い、コミュニケーション、日常生活スキル、社会性、運動スキルの4領域の評価をします。コミュニケーションは受容言語、表出言語、読み書き、日常生活スキルは身辺自立、家事、地域生活、社会性は対人関係、遊びと余暇、コーピングスキル、運動スキルは粗大運動、微細運動の下位領域を含みます。いずれも日常生活の中で使われるスキルを評価するところに特色があります。

Vinelandは日本においてWISCほど普及していませんが、WISCとともに発達障害アセスメントの両輪になり得るものだと思います。本シンポジウムを機に広まることが期待されます。

### 事務連絡

《日程》2024(令和6)年1月21日(日曜日) 《会場》日本教育会館 一ツ橋ホール +オンデマンド

《研究発表(ポスター発表)》 オンデマンド配信 《参加費》5,000円

#### 《参加申し込み》

事前参加申込(会場・オンデマンド選択可) 2023年9月20日(水)~2024年1月5日(金) ← 終了いたしました  
通常参加申込(会場・オンデマンド選択可) 2024年1月16日(火)~2024年2月12日(月) ← 開始が16日に変更になりました

残席がありますので会場参加も継続募集中です

参加費の納入期限 事前参加申込:2024年1月10日(水) 通常参加申込:2024年2月12日(月)

※「参加費の納入」をもって、申し込み完了とします。

お申込みはこちらから → <https://conference.wdc-jp.com/jald/ws2023/participant>

《特別支援教育士(S.E.N.S, S.E.N.S-SV)資格更新ポイントのお知らせ》

特別支援教育士資格更新規程に基づいてポイントが付与されます。

領域:特別支援教育士資格更新規程第2条V領域 ポイント数:参加者…2P

本研究集会の参加者ポイントについては、・会場参加の方:会場受付での来場確認・オンデマンド参加の方:オンライン会場へのログイン記録をもとにして運営事務局から特別支援教育士資格認定協会に申請します。

次号の登壇者紹介はシンポジウム話題提供者の橋本創一先生です。ご期待ください。  
この研究集会が、皆様にとって充実した学びの機会となること実行委員一同願っております。

